

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年2月27日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102542
法人名	社会福祉補人 愛心会
事業所名	グループホーム桜
所在地	鹿児島市下福元町9057 (電話) 099-210-8655
自己評価作成日	令和3年1月29日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和3年2月17日(水)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

桜の木々に囲まれ自然豊かな環境に恵まれています。敷地も広く四季折々の草花を見ながら苑内散歩し静かな憩いの場所です。理念のみんなで、ゆっくり、たのしく。を毎日出来る様にサポートし入居者様が安心して生活出来るように心がけています。また、日頃より防災に心がけ、救急・急変時対応および火災訓練も年3回行い、AED設置もしており、すぐに使用できる様に訓練も行なっています。今年にはコロナウイルス流行でイベントや面会等家族の参加が出来ない状況ではありましたが、入居者様や職員のみで季節行事を楽しみました。ご家族の方々にも、手紙や苑便り等でお知らせしてご理解頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、自然豊かな広大な敷地に立ち、桜島や錦江湾を眺望でき、桜やツツジなど緑あふれる落ち着いた雰囲気がある。高齢者福祉入居施設や介護サービス事業所などが併設する1階平屋建ての温かみのある建物である。自治会に加入し、地域との関係性を大切にし、地域の夏祭りや清掃活動への参加やボランティアの受け入れ、地域住民との交流活動に力を入れており、散歩や外出を通じて野菜の差し入れなどを頂戴することもある。理念は、「みんなで、ゆっくり、楽しく」であるが、利用者がのんびりと思いにマイペース、笑顔で日々暮らせるよう職員会議やカンファレンスなどで意見交換し理念を意識したケアの実践に向けて話し合っている。管理者は、職員との信頼関係を築くとともに必要に応じて個人面談したり、職員会議などで意見や提案などを聞く機会を設けている。新型コロナウイルス感染症予防のため、職員の研修体系も変化しており、WEB会議システムなどを活用した研修に参加し自己研鑽し知識や技術の向上に努めている。食事は、ユニットごとに職員が調理しているが、栄養やバランスを考えて食事形態や嗜好に合った食事の提供をしている。誕生日のリクエストメニューや行事に提供する食事は季節感が味わえるよう工夫し調理している。手作りのお花見弁当を楽しんだり、法人施設でのバーベキューへ参加して普段とは違う食事の雰囲気を味わい食への関心が薄れることがないよう支援している。利用者の中には、能力に応じてお手伝いをされる方もおられる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を見える所に掲示し、常に意識付けして働き、入居者様中心で「ゆっくり、たのしく」過ごして頂ける様に心がけ、生活ケアに努めている。	理念は、共有スペースに掲示され職員一人ひとりが気持ちに余裕を持ち利用者に寄り添う想いでケアを実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今期はコロナの影響で参加する等の交流が難しく地域との繋がりが日常的に出来ずじまいでしたが日頃、意識はしています。	散歩や買い物、通院時に地域の方と触れ合う機会があり、近所の方が草払いを手伝って下さったり、畑の作物を差し入れて下さる方がいる。これまでは地域の清掃作業や夏祭りなどに参加していたが、ボランティア、実習生の受け入れなど含め自粛している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	コロナ禍で地域の行事に職員が参加する事が出来なかった。職場体験の中止。看護実習生の受け入れも出来ずでした。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ感染防止の為に、今期は会議の開催が困難でした。電話や手紙で報告や意見等お聞きしサービスの向上に活かしています。また、職場内で意見を出し合い向上に努めている。	会議は、昨年2月以降スタッフだけで開催されているが、会議メンバーには電話や手紙を通じて、運営状況などを伝え意見やアドバイスなどを頂戴している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	家族との関わりや困り事、事故発生等、市・保護課に連絡・相談し協力や知恵を頂いて連携を密に行っている。	市担当者とは電話や面談で情報交換をおこない相互に協力関係を築くよう連携が図られている。保護課職員との連絡、連携もあり、利用者が安心して暮らせるよう支援している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設け、月1回行われるカンファレンスで問題があるかどうかの確認をしたり、勉強会（資料配布）を行っている。自由に動けるように、特に理解出来る方には声掛けや見守りを強化して本人様の思いのままにして頂いている。	身体拘束委員会があり、毎月のカンファレンスの中で事例検討やケアの振り返りを行っている。会議は、年6回開催している。ホーム外は広大な自然いっぱいな環境であるため、散歩などは本人のペースに合わせて職員が寄り添いともに同じ時間を過ごしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	カンファレンスで勉強会を行い見直しを行っている。絶対にやってはいけない事と意識を持ち、職員間で話し合い、職員同士で看視に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会に参加して学ぶ機会を持っている。カンファレンスで話し合い意識を持ち、家族と本人様と共有出来るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者と計画作成担当者が、入居者様家族に細かい事でも説明して理解して頂き、その上で契約して頂いている。意見がある際にはその都度説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族へ入居者様の状況を報告する度に意見等をお聞きしたり、ご意見箱を設置し、要望取りまとめその都度職員が共有し反映出来るように取り組んでいる。	利用者とは直接面談したり暮らしの中で意見や要望を聞いたりしている。家族は、電話や面会に来られた時に利用者の生活状況を説明し、職員の対応やケアの状況などを踏まえた事業所運営に関連した意見などを頂戴し運営に活かすよう取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の朝礼やカンファレンスにおいて意見交換し、改善・業務に反映させている。また、管理者に相談したりして改善されている。	職員は、職員会議や業務遂行の中で意見を出し話し合っている。また、管理者は、随時職員と面談し職員の意見反映に努め仕事がしやすい職場環境の整備に努めている。離職率も低く関係性は良好である。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	有給・希望休み等。十分相談・理解して頂いている。何でも相談出来る環境・職場間のコミュニケーションが図れている。また、時間外勤務も記入し見える化で状態が分かる様に整備されている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>コロナ禍になり研修申し込みしていたのが、キャンセルになったりしながらも、少しずつ生活様式の変更になり、研修に参加する事で考える介護の実践。個々の力量で取り組む事が出来てきている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>コロナ禍で今期は参加を控えている。落ち着いたら勉強会や研修に参加する事で意見交流の機会が増えて資質向上に繋げていきたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様の思いや要望を対話する事で言葉を引き出し、その方の思いを理解し、家族からの情報を基に入居者様との関わりを持つ事で信頼関係を築ける様に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人様の様子を密に家族に連絡・報告しコミュニケーションを取り、話しやすい雰囲気を作り、信頼関係を築いていける様に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族に連絡し話す事により、何を必要とされているかを感じ取り、多くの情報収集を行い利用者様のニーズに合った必要な支援が出来るように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様の意見を尊重し、その方の思いを共感できる様に努め、共に楽しく・ゆっくりとした生活が出来る様に思いやりを持ち支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月1回の家族への手紙で情報の共有を行い、何か変化に気付いた時はすぐに連絡。家族の協力を頂き安心・安全に生活して頂ける様に努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今年はコロナ禍で面会出来ない時もありましたが、少しずつ柔軟な対応で面会して頂きました。電話で話して頂いたりもして関係性が保てる様に努めてきました。	利用者ごとに担当職員がおり、毎月生活ぶりをお知らせしたり、手紙や薬書の代読、電話の取次ぎをおこない、馴染みの人との関係性が希薄にならないよう取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個性豊かな方々もおられ難しい一面もある時もありますが、職員が間に入り事で、コミュニケーションを図り争い事なく居間にて楽しくリハクやカラオケに参加して頂ける様に支援して居る。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	困り事があったら気軽に相談して下さる様に伝えて、これからも関わりが取れる様な雰囲気を持つように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	行動や話をされる事にその方の思いがあるので、様子観察しながら、その方に合ったケアを心がけ、意向に添う様に努めている。	入居前の生活歴や家族の情報などを参考にしたり、日々の生活の状況や会話などで利用者の思いや意向を把握し本人本位に検討するよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族からの情報や入居者様の話を良く聞く様にしている。状況に合わせたサービスを行えるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝バイタルチェックを行い、その日の体調・状況に応じた対応をする様にしている。職員間で意見を出し合い現状の共有に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスで情報交換し、職員間で共有し、最善の方法やアイデアを導きだしより良く暮らしている様に考慮・作成されている。	新型コロナウイルス感染症禍であるため面会制限をしているが、玄関エントランスで面会をしていただいたり、家族に参加を求め担当者会議を開催している。職員は、定期的にカンファレンスを開き利用者の思いを共有し本人らしい生活の実現に向けて取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践結果・気づきを介護記録や連絡帳に記入し必ず朝の引継ぎにて情報共有し介護の統一実践する様になっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	介護に必要なサービスに対応出来る様に柔軟な心や頭を持ちつつ、ケアプランに添った介護サービスに努め取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	例年、教育実習生や職場体験の中学生を受入れ共に学びの教育や関わりが保持出来ていたが、今期はコロナ禍で延期・中止となり関わりが薄くなり残念です。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療・受診を職員とご家族で連携し、結果を電話や手紙で報告している。また、週1回の訪問看護時に何でも細かい事を相談してアドバイスを受けている。	協力医療機関との連携があり、訪問診療や外来受診を支援し、家族に協力をもらいながら適切な医療が受けられるよう支援している。訪問看護との協力体制もあり、日々家族とは情報を共有し利用者が安心して暮らせる生活の実現に向けて支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護師の方が週1回来て下さり、爪切り・治療の処置・バイタルチェックして下さり体調等について細かく相談出来ている。入居者様の状況報告し適切なアドバイスを受け支援に繋げている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>看護マラーを記入し報告している。途中で様子確認の電話を病院の相談員と連絡したり、家族との連絡で情報交換に取り組んでいる。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合、終末期のあり方について、ご本人様や家族と話し合いを行い苑で出来る事を十分に説明し担当主治医・看護師と方針を共有し連携を取れる体制を整えている。</p>	<p>看取り介護に関する指針や意向確認書、同意書があり、契約時や重度化し看取りを開始する際に書面にて説明し事業所の方針を共有して、主治医などと連携し納得のいく最期が迎えられるよう取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>AED設置している。 入居者様の急変や事故発生時に備えて応急処置や、家族・病院・救急車対応の勉強会をカファルスで行なっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	例年消防立会の基で最低2回は訓練を実施している。今期はコロナ禍で自主訓練となり、水害・台風時や火災についての避難訓練等勉強会をしている。常に一年に一回は職員が参加出来る様に計画している	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年1回消防署立ち合いによる避難訓練が実施されている。自主点検では、備蓄の賞味期限の確認や防災グッズを常備し、食料品は法人施設で一括管理している。また、不審者対策にも力を入れており訓練を実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉使いや声掛けを工夫し自尊心を傷つけない様に、その方の人格・性格を考慮しながら言動に慎みを持ち対応している。	居室に入る時は必ず声かけするよう心がけている。職員は、言葉の使い方や声かけにはプライバシー保護に十分に配慮し、耳元で声かけしたり、ジェスチャーを用いて誇りなどに留意するようになっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の気持ちに寄り添って本人様の思いを尋ねたり、見守り気づきに心がけ、その方が、自己決定出来る様に方向づけ、援助・助言を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースを大切にし、日々のその人らしい暮らしを目指している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	訪問美容。洗面台での整髪・洗面など、ご自身で出来る方はして頂き介助も行っている。洋服も自身で選べる方は準備して頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好物を伺い、食べたい物を準備出来る様にしている。行事食・誕生日メニュー・食事会等やお弁当で気分転換を図って頂ける様に献立も毎月作成している。温かい食事や、家庭的な食事にも努めている。	両ユニットは毎月献立を作り、栄養バランスや食事形態を工夫するなどして食事への関心や興味を持ち食事を楽しめるよう取り組み味噌や梅干しなどの常備菜を手作りしている。花見の弁当や隣接した施設でのバーベキューに参加したり、誕生会などの行事食、手作りおやつを楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量・水分量も必ず記録にとり気にかけており、確保できない場合は高カロリー補助食品での支援をしている。ADLに合わせて食事形態を変えて提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは特に気をつけて、毎食後、必ず一人一人のケアを行っている。口を開け難い方には、スポンジブラシでのケア、舌ブラシも行っている。訪問歯科対応の処置も行なっている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様のADLに合わせた介助を心がけている。排尿・排便のパターンに合わせてトイレ誘導を行い、声掛けにて確認する様にもしている。	排泄チェック表を参考に排泄パターンを把握し、居室に誘導して排泄の声かけしている。居室にトイレが設置してあるためプライバシー保護には十分な配慮があるが、排便の確認がしにくいなどの悩みがあり排泄ケアを工夫している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘が原因で行動に変化が現れる事が多々あるので、毎日便秘チェックを行い、水分量も十分に気配りしている。散歩を促したり、腹部マッサージも取り入れたりし、主治医に相談して下剤服薬も個々により対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個々の体調に合わせて入浴を楽しんで頂いたり、気持ち良かったと話して頂ける様に心がけている。	週3回程度を目安に本人の希望や必要性に応じて入浴支援をおこなっている。ユニット毎に浴室環境は異なるが、利用者の身体状況に応じて無理のない入浴介助をおこなっている。利用者各のシャンプー・リンスを使っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活のリズムやこれまでの生活習慣に合わせて休息をして頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院受診ノートや薬情ファイルを見て理解・確認し誤薬が無い様に服薬支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	興味を示される物や、楽しみを理解し、無理強いをしない様に張りのある生活が出来る様に支援している。お手伝い等も楽しみながらして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出支援も出来るだけ家族の協力を得ながら行う様に計画はしていたが、今期は、コロナ禍で外出支援が出来ずに、苑内の散歩を心がけ気分転換をして頂いた。	広大な敷地に建つホームであり四季折々の花見（桜やツツジ見物など）を楽しんだり、畑作業中の地域の方との交流や散歩を楽しんでいる。また、外来受診を兼ねたドライブもあるが、新型コロナウイルス感染症予防のため、例年の外出支援はできていない。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	何処にしまわれたか分からなくなったり、物取られ妄想があったりされるので、家族の理解・協力のもと金銭は、施設で保管している。希望によりおやつ等購入して頂ける様に支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人様の希望で電話したり、手紙を書いて頂き出したりして家族より、手紙や電話を頂き話され喜んで頂いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎朝掃除を行っている。季節に応じた飾りつけをして季節感を感じて頂いている。入居者様と一緒に物作りして展示している。（七夕・クリスマス等）	散歩時に利用者自身がホーム周辺に咲く花を摘んで活けて眺めたり、季節感が味わえるよう梅や桜などの折り紙が掲示がされている。玄関からリビングが一望されソファやテレビが配置され、廊下は広く手すりが設置されている。小まめに換気し温度や湿度管理、消毒などが徹底されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席替えをしたり、入居者様同士での交流されたり、楽しく過ごして頂ける様に工夫している。廊下ソファにて日向ぼっこしたりして、お気に入りの場所にて過ごして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様の相談の元、私物を飾ったり写真を飾ったり、ご本人様が使いやすい様に家具の配置を行っている。	居室は、洗面台やトイレなどが常設され、利用者の使い慣れた品を持ち込み趣味のぬり絵を楽しまれる方がおられる。トイレには新たに手すりを設置し環境を整備し排泄の自立が図れるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室前に名前や顔写真・目印をおき、見えやすい位置に貼ってある。その方の状態により居室内のトイレには、手すりを設置したり、靴を検討したりして、自分ができる事は維持・自立が出来る様に環境整備行っている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない